

F 組立手順

1) 足場の脚部

設計計画図に基づき、敷板の上にジャッキベースを所定の位置に設置し釘等で固定します。

注1) 基礎の支持力が十分であることを確認します。

2) 支柱根がらみの取付

① 最下層の支柱、根がらみ用ソケットのあるJFT-27、JFT-13.5を使用します。

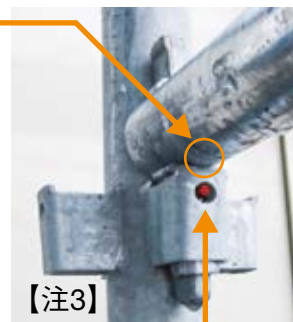
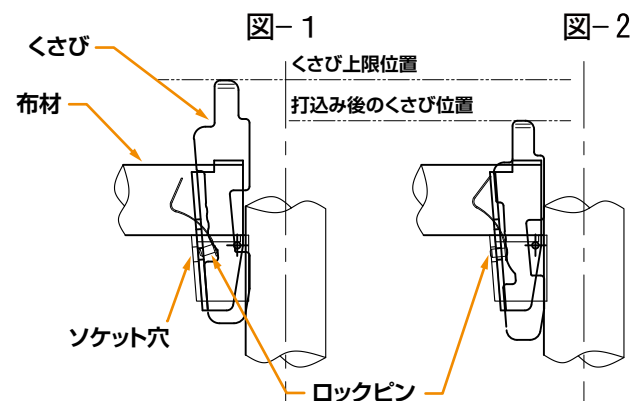
設置場所に傾斜がある場合はJFT-2.5、JFT-4.5等の支柱で高さ調節する。(支柱が倒れないように注意)

② 最下段のソケットに根がらみ(布材)をセットします。

注2) 布材をセットするときには、図-1の通りくさびが上限にあり、ロックピンが引っ込んでいることを確認して下さい。ロックピンが突き出していると布材が浮き、その状態でくさびを打ち込むとロックピンが損傷する恐れがあります。

注3) 布材のパイプが支柱のソケット部に接触している事を確認してください。

注4) 図-2の通り、くさびを打ち込むと、ロックピンが突き出しソケットの穴にロックピンが貫通します。ソケットの穴よりロックピンが貫通するまで打ち込んでください。

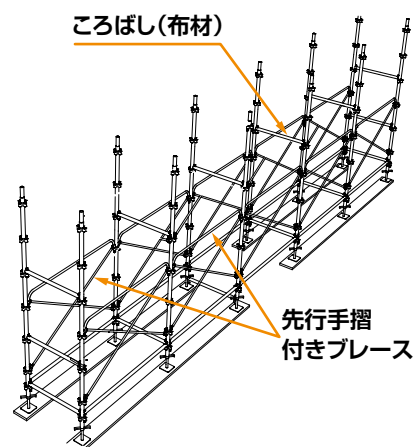


ロックピンがソケット穴から貫通していることを確認してください。
→ 貫通しないと抜け止め機能が働かない。

3) ころばし(布材)の取付

床用に足場の幅方向に、ころばし(布材)を支柱の5段目のソケットに取付けます。

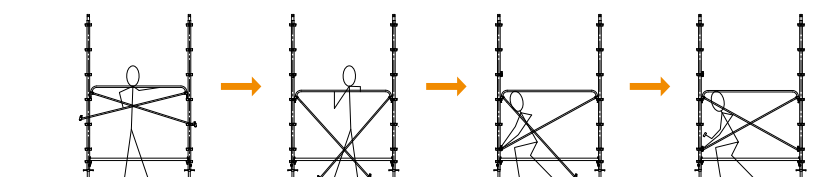
4) 1層目先行手摺付きブレースの取付け



① 先行手摺付きブレースを折り畳んだ状態で持ち上げ、4段目のソケット両側に上部差込金具を装入する。

② 2段下がったソケットに下部取付金具を横方向より装入し、くさびをハンマーにて緊結する。(この時、くさびはソケットに干渉しないように持ち上げながら装入する。)

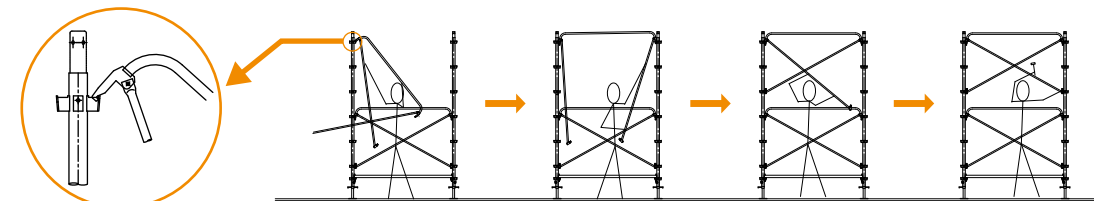
③ 足場の前踏み/後踏み側の両面に設置する。



5) 2層目先行手すり付きブレースの取付

① 左図のとおり支柱の最上段のソケットに先行手摺の上部差込金具のフックを掛ける。

② 反対側のソケットに先行手摺付きブレースの上部差込金具を差し込むと自動的に①側の差込金具はソケットの奥に差し込まれます。



6) 床付き布わくの取付け

二層目に床付き布わくを設置する。

7) ①階段受け、②階段枠、③階段手すりの設置

① 最下段のソケットに階段受けを取り付ける。② 階段枠を階段受けに掛け設置する。③ 階段手すりを取り付ける。

注5) 階段枠は最初に下部つかみ金具をセットしてから上部つかみ金具をセットする。

8) 手すり(布材)の取付け

前踏み側と妻側に手すり(布材)を取り付ける。

注6) 手すり設置時には、墜落制止用器具を先行手摺の手摺材に取付けること。

9) 階段開口部用手摺枠の設置

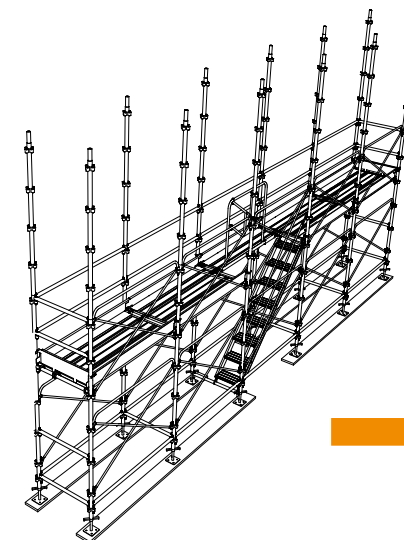
階段開口手摺枠を設置する。

10) 3層目以降の組立

① 下段支柱(JFT-27)のホゾ部に上段支柱(JFT-36又はJFT-18)を差込みます。

② 支柱を回転させ、ロック金具より「カチッ」と音がして、回転しなければロック完了です。

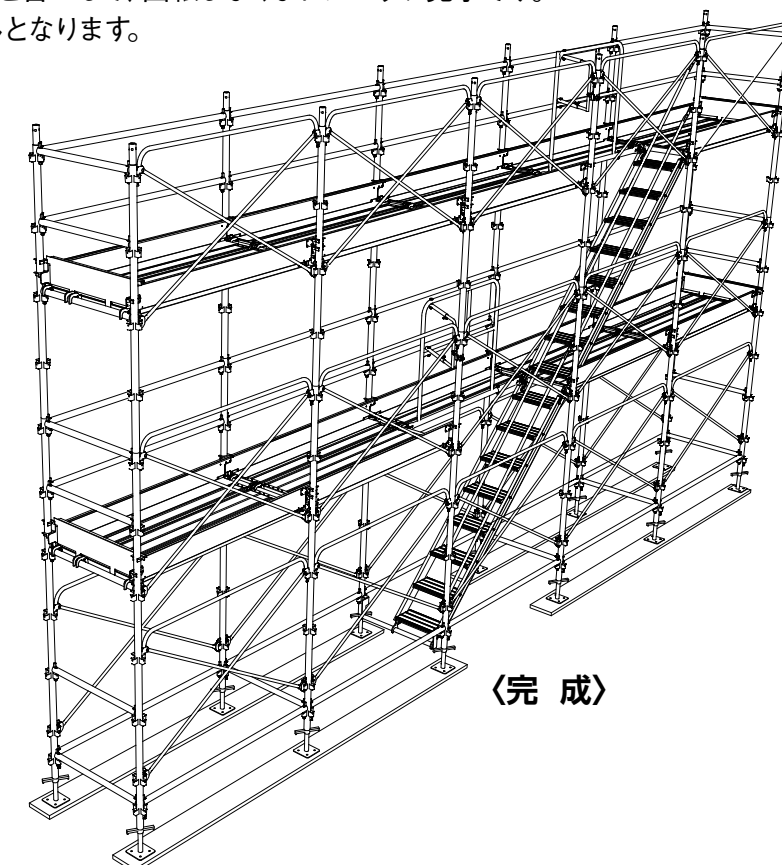
③ 3層目以降の組立は「3)⇒9)」の繰り返しとなります。



11) その他

壁つなぎの取付

注) 垂直方向5.0m以下、
水平方向5.5m以下の事



〈完成〉